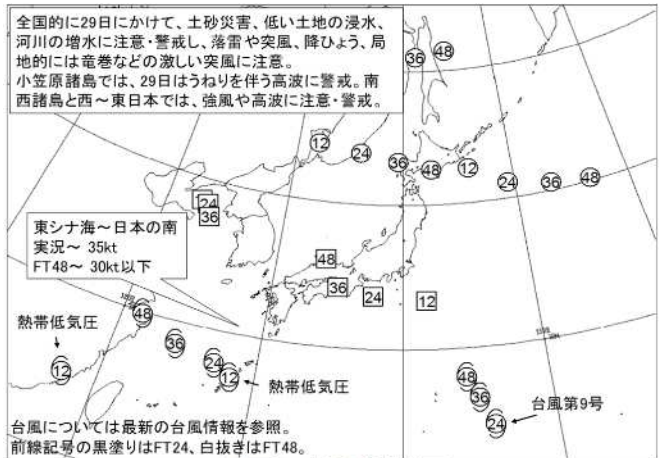


1. 実況上の着目点

- ① 黄海と日本の東の高気圧が本州付近を覆っており、晴れて気温が上昇し、猛暑日となっている所がある。東日本を中心に活発に発達し激しい雨を解析、竜巻注意情報を発表。
- ② 熱帯低気圧が沖縄本島地方付近にほとんど停滞。熱帯低気圧の周辺の下層暖湿気の影響で、南西諸島の近海では、猛烈な雨を解析、雷を検知。また、風が強く、うねりを伴いしけている。
- ③ 500hPa 5820m付近のトラフに対応する低気圧が北海道を東南東進。北海道では激しい雨を解析。
- ④ 大型で強い台風第9号は、小笠原近海を北上。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の黄海付近の高気圧は、28日にかけてほとんど停滞。日本の東の高気圧は29日にかけて、本州付近に中心を移す。本州付近では29日にかけて、日中は晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症など健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、午後は気温の上昇で山沿いを中心に大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。西～東日本では29日にかけて、北日本では27日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の熱帯低気圧は、28日は東シナ海を西北西へ進み、29日は華中へ進む。熱帯低気圧周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。大東島地方では28日にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。また、熱帯低気圧と2項①の高気圧との間では、強い風が吹き、うねりを伴い波が高くしける所がある。九州南部では27日は、南西諸島では28日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、強風や高波、落雷、竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項③の低気圧は、27日夜にかけて北海道を通過し、28～29日は500hPa 5820m付近のトラフに対応する別の低気圧が北海道地方を通過する。低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨が降って大雨となる所がある。北海道地方では29日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。
- ④ 1項④の台風第9号は、29日にかけて強い勢力で小笠原近海を北上。小笠原諸島では、非常に強い風が吹き、海上は大しけとなる。また、大気の状態が不安定となって雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。小笠原諸島では29日は、高波に警戒し、強風、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。東日本では29日は、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- ## 4. 防災関連事項 [量的予報等]
- ① 雨量(18時からの24時間)：沖縄200、奄美180mm。
 - ② 波浪(明日まで)：奄美5、沖縄・九州南部・九州北部4、四国3m。
 - ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。全国的に、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」と「台風第9号に関する情報(総合情報)」を17時頃に発表予定。